

あいかわ 議会だより

第 169 号

令和3年5月15日発行

責任者 議会議長 馬場 司
年 4 回発行・本号18ページ

紙粘土で制作したお弁当



お弁当を制作した愛川中原中学校美術部の生徒たち

- 各会計の新年度予算を可決 P.2
- 監査委員及び固定資産評価審査委員会委員の選任を同意 P.3
- 議員提出議案
出産・押印等に関する議会会議規則を改正 .. P.4
- 愛川中原中学校美術部紹介 P.18

〈第1回2月臨時会〉〈第1回3月定例会〉



スマホで簡単応募

議会クイズ 抽選で3名の方に商品券が当たる!

詳しくはP17をご覧ください



令和3年5月15日

2021 GIKAI

令和3年第1回2月臨時会は2月12日に開催され、条例の一部改正及び補正予算に関する2件の町長提出議案を審議し、全議案を可決しました。

また、令和3年第1回愛川町議会3月定例会は、3月1日から3月24日まで、会期24日間(本会議開催日5日間)にわたり開催され、条例の一部改正をはじめ、新年度予算や補正予算、監査委員の選任など、合計で40件の町長提出議案及び1件の議員提出議案を審議し、全議案が可決(同意)しました。

本号では、以上の内容を中心にお知らせします。

2月臨時会

条例議案

◎愛川町国民健康保険条例の一部改正
(賛成全員)

「新型コロナウイルス感染症等対策特別措置法」の一部改正により、本条例において定義として引用している、新型コロナウイルス感染症に関する特別の規定が削除されたため、所要の改正を行う一部改正条例を可決したものです。

【施行期日 公布の日】

補正予算

◎令和2年度愛川町一般会計補正予算(第8号)
(賛成全員)

新型コロナウイルス感染症対策が国の示すスケジュールに沿って、迅速かつ円滑に実施ができれば、歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ2,635万9千円を追加し、一般会計の総額を172億2,739万2千円としたものです。

主な内容は、ワクチン接種を実施するため、医療従事者等を対象とした



ワクチン接種シミュレーションの様子

接種費用のほか、65歳以上の高齢者へのワクチン接種券や予診票の印刷・発送に係る経費、予約システムの導入経費、健康管理システムの改修経費、さらに、予約受付や相談業務を担うコールセンターの設置費用、集団接種会場の設営やスタッフに要する経費など、接種を行う上で必要な経費です。



上空から見る内陸工業団地

令和3年第1回2月臨時会日程

月	日	曜	会議名	主な内容
2	12	金	本会議	町長提出議案の説明・質疑・討論・採決

令和3年第1回3月定例会日程

月	日	曜	会議名	主な内容
3	1	月	本会議	監査委員の選任 固定資産評価審査委員会委員の選任 町長施政方針演説、提出議案の説明
	3	水	本会議	一般質問(6人)
	4	木	本会議	一般質問(3人)
	9	火	本会議	補正予算・事件関係議案の個人総括質疑・討論・採決 施政方針・条例及び新年度予算に対する会派代表質問、委員会分割付託の決定
	10	水	総務建設常任委員会 教育民生常任委員会	付託案件の補正説明・現地調査
	12	金	総務建設常任委員会	付託案件の審査
	16	火	教育民生常任委員会	付託案件の審査
	17	水	総務建設常任委員会	付託案件の審査
	18	木	教育民生常任委員会	付託案件の審査
	24	水	本会議	付託案件の審査結果の委員長報告・質疑・討論・採決 議員提出議案の説明・質疑・討論・採決

3月定例会

総額247億2,938万8千円
令和3年度当初予算を可決



上記のQRコードを読み込むと、スマートフォンやタブレットから当初予算の詳細がご覧いただけます。

《各会計予算額》

会計名	予算額	構成比	前年度比増減率	
一般会計	131億5,500万円	53.2%	5.5%	
特別会計	国民健康保険	49億7,500万円	20.1%	△1.3%
	後期高齢者医療	5億700万円	2.0%	2.8%
	介護保険	31億5,600万円	12.8%	2.3%
	小計	86億3,800万円	34.9%	0.3%
企業会計	公共下水道事業	19億138万8千円	7.7%	△4.4%
	水道事業	10億3,500万円	4.2%	5.3%
	小計	29億3,638万8千円	11.9%	△1.2%
合計	247億2,938万8千円	100.0%	2.8%	

- ◎一般会計予算
- ◎国民健康保険特別会計予算 (以上、賛成全員)
- ◎後期高齢者医療特別会計予算

- (賛成12人、反対3人)
- ◎介護保険特別会計予算
- ◎公共下水道事業会計予算
- ◎水道事業会計予算 (以上、賛成全員)

※議長は表決に含まず

人事議案

◎監査委員の選任

(賛成全員)
前任者の任期満了に伴い、新たに次の方を選任することに同意しました。

愛川町三増在住

小林 晴男 氏

◎固定資産評価審査委員会委員の選任

(賛成全員)

前任者の任期満了に伴い、新たに次の方を選任することに同意しました。

愛川町半原在住

八木 章 氏

条例議案

◎愛川町職員宣誓に関する条例の一部改正

(賛成全員)

地方公務員法の改正に基づき規定された「会計年度任用職員」の職務の宣誓について、実情に並び、常勤職員とは別段の定めをすることができるよう、所要の改正を行う一部改正条例を可決したものです。

【施行期日】

令和3年4月1日

◎愛川町職員の給与に関する条例及び愛川町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正 (賛成全員)

コロナ禍における地域経済対策、予防対策等の措置を講ずる必要があることや、厳しい社会経済情勢を考慮し、職員の地域手当の率を一定割合減額するため、所要の改正を行う一部改正条例を可決したものです。

【施行期日】 公布の日

地域手当減額の概要

対象者	特別職 (町長・副町長・教育長) 一般職
支給率	給料、扶養手当及び管理職手当の9% (改正前は10%)
期間	令和3年4月1日 ～令和4年3月31日

◎愛川町国民健康保険税条例の一部改正

(賛成全員)

全ての所得に適用される基礎控除額について10万円引き上げるとした

地方税法等の改正により、国民健康保険税の負担水準に不利益が生じないよう、被保険者に係る軽減判定所得等について所要の改正をするものです。

また、低未利用土地等を譲渡した場合の長期譲渡所得に係る課税の特例が定められたことから、所要の改正を行う一部改正条例を可決したものです。

【施行期日】

令和3年4月1日

◎愛川町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

(賛成12人、反対3人)

受益者負担の適正化や粗大ごみの排出抑制を図る観点から、近隣市町の手数料とのバランスなどを考慮し、粗大ごみの区分に新たな「大型粗大ごみ」の項目を設けるとともに、処理手数料を改定するため、所要の改正を行う一部改正条例を可決したものです。

【施行期日】

令和3年10月1日

◎愛川町介護保険条例の一部改正

(賛成全員)

令和3年度から令和5年度までの第1号被保険者の保険料率を改正するとともに、紙おむつ助成事業に係る市町村特別給付について定めるほか、介護保険料や保険給付の負担水準等に不利益が生じないよう、被保険者に係る所得等の改定を行うため、所要の改正を行う一部改正条例を可決したものです。

【施行期日】

令和3年4月1日

補正予算

◎令和2年度愛川町一般会計補正予算(第9号)

(賛成全員)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ4億3,923万3千円を追加し、その総額を176億6,662万5千円とするものです。

主な内容は、コロナ禍における不安を緩和するため、ひとり暮らし高齢

者世帯登録者に千円分の「元気券」を配布するほか、オンライン授業の導入が進む中、大学生や専門学校生等によりモーター授業の環境整備に係る経費を補助するものです。



じいじばあばの元気券(見本)

事件関係

◎工事請負契約の変更に ついて(令和2年度原白橋補修工事)

(賛成全員)

原白橋の床版や橋台などの詳細な事前調査を行った結果、新たに補修が必要となる箇所があったことから、契約金額を変更するものです。

【契約金額変更前】

6,100万6,000円

【契約金額変更後】

6,248万6,600円

◎各児童館指定管理者の 指定について(賛成全員)

町内の18児童館について、引き続き各行政区の区長を指定管理者として指定したものです。

◎町道路線の廃止及び 認定について(賛成全員)

一般交通の用途に供する必要がなくなった路線や新たに町道として管理する必要が生じた路線について、町道路線の廃止及び認定をします。今回は中津地内の1路線の廃止を行い、新たに角田・中津地内の2路線を認定しました。

令和3年5月15日

議員提出議案

◎愛川町議会会議規則の一部を改正する規則の制定
(賛成全員)

男女の議員が活動しやすい環境を整えるため、出産・育児・介護などを議会への欠席事由として整備するとともに、出産については母性保護の観点から、産前・産後の欠席期間を規定するものです。

また、請願者の利便性の向上を図るため、議会への請願手続きについて、押印の義務付けを見直し、署名又は記名押印に改めるため、所要の改正を行う一部改正規則を可決したものです。

【施行期日 公布の日】



会 派 代 表 質 問

本会議4日目の3月9日は、町長の施政方針に対し、会派代表質問を行いました。内容の一部を紹介します。

あいかわの聲

(渡辺 基議員)

問 行政依存からの脱却に向けた防災対策の取り組みについて

町長 令和3年度は、新たなハザードマップの作成や、避難場所・感染予防対策の心得などを掲載した「いのちを守る啓発マグネットシール」を各戸に配布します。

今後も引き続き、避難所対策や資機材、備蓄品などの計画的な整備に努めるとともに、「自分たちの地域は自分たちで守る」といった自主的な取り組みが促進されるように、各種訓練への支援や住民皆さんへの防災、減災に関する周知啓発を徹底するなど、地域防災力の強化に努めていきたいと考えています。



防災訓練の様子



オリンピックトーチ(役場1階ロビー)

問 オリンピック・パラリンピック関連事業を見直す考えについて

町長 オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、ソフトボールや自転車ロードレースなどの各種競技観戦を通じて、町民皆さんの心に残る機会を提供することは大変有意義であると認識しています。よって、関連事業を見直す考えはありませんが、今後、IOCや東京大会組織委員会等の動向を注視しながら、県との調整を密に図っていきたいと考えています。

問 発達障がい等のある児童・生徒への切れ目のない支援について

町長 通常学級に在籍する個別の支援が必要な児童・生徒に対しては、週2時間、障がいの状況に応じた指導を行う「通級指導教室」を平成30年に中津小学校に配置しており、令和3年度には半原小学校に増設します。

また、心理、福祉の専門家であるスクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーを各小・中学校に派遣し、発達相談や心の問題、いじめ、不登校、暴力等のさまざまな課題のある児童・生徒への支援を行っています。

日本共産党愛川町議員団(小林 敬子議員)

問 第8期介護保険事業計画及び保険料算定の考えについて

町長 第8期の計画では、団塊ジュニア世代が65歳を迎える2040年に向

け、高齢者人口や介護サービスニーズを中長期的に見据えて、地域密着型サービス施設整備事業や終活支援事業などのハード、ソフト両面にわたる事業展開を図っていきます。

また、保険料については、団塊の世代が75歳を迎える2025年を間近に控え、高齢化の進行や介護報酬の改定に伴う給付費の増加を踏まえて積算すると現行を大きく上回りますが、負担を出来るだけ抑えるため、本町の介護保険事業運営基金や国の保険者機能強化推進交付金を活用し、第8期の介護保険料基準額を現行の5,200円から5,400円としたものです。



令和あいかわ

(阿部 隆之議員)

問 地方債活用の 考えについて

町長 地方債には、支出と収入の年度間の調整、住民負担を世代間で公平にするための調整、一般財源の補完という3つの機能があります。どんな事業でも活用できるものではなく、適債事業として認められるものに活用しています。

そこで、令和3年度は、

毎年度実施している道路橋梁整備事業のほか、観光・産業連携拠点づくり事業に加えて、町営三増住宅の外壁、屋根改修や、愛川中学校及び第1号公園体育館の屋上防水工事などの財源として、地方債を有効的に活用したいと考えています。

さらに、アフターコロナを見据え、地域経済の回復に向けた取り組みが不可欠であり、活気と元

政として積極的に事業を推進することが必要であると考えています。そのため、一般財源の補完機能を最大限に活用するために、適債事業を積極的に拾い上げ、できる限りの財源確保に努めたものです。

問 あいかわ景気盛り アゲ券第2弾の実 施に至った経緯について

町長 昨年の10月からあいかわ景気盛りアゲ券による支援を実施してきました。この第一弾の事業では、対象者の98・6%となる3万9,336人の方に商品券を配布し、約1億1,200万円の前算が町内の店舗で利用され、地域経済の活性化に大きな効果があったものと認識しています。



あいかわ景気盛りアゲ券(見本)

また、店舗へのアンケート結果では、「新しいお客さんが増え売り上げ

公明党

(佐藤 りえ議員)

問 農福連携フロン ティアモデルに 期待する効果について

町長 本事業は、障がい者の方々への就労機会や生きがいづくりの場を提

供しているありんこ作業所と農業者が協力し、規格外等の理由により市場に流通しない余剰野菜を

活用し、付加価値のある乾燥野菜として開発、製造、販売する「農福連携」の先駆的な事業モデルとして構築していこうとするものです。

今後、現実的に実施できることになれば、ありんこ作業所では、作業量の確保、工賃の増加を見込むことができるほか、



問 ESCO事業に 期待する 効果について

農業者にとっても、新たな働き手の確保とブランド力のアップによる生産物の付加価値が望めるものと考えています。

町長 本町では、これまであいかわエコアクションプランに基づき、防犯灯などの照明器具のLED化をはじめ、太陽光発電設備の設置など、省エ



太陽光発電設備

ネルギーに向けた取り組みを進めてきました。こうした中、改修に要した費用を、その省エネ効果により得られた光熱水費の削減分で償還をしていくのがESCO事業であります。

常任委員会での審査

条例議案や令和3年度当初予算の審議をより詳細に行うため、各常任委員会では現地調査及び事業に対する審査において質疑を行いましたので、その内容の一部を紹介します。

総務建設常任委員会

自治体情報セキュリティ強化対策事業費

問 リモートワーク検証委託料の詳細について

答 職員が自宅から職場のパソコンを遠隔操作できる、いわゆるリモートワークの実施に備えて、導入可能台数や外部と接続する回線の増強の要否などを検証するための委託料を新年度予算に計上したものです。

この検証委託の詳細は、庁内のネットワーク機器などに対し、外部から職場のパソコンへの接続を可能にするための設定変更作業や、検証用ソフトの導入や設定作業のほか、リモート接続を行った際の通信回線にかかる負荷の測定や解析作業などを行うための委託料22万円を計上したものです。

火災予防活動事業費

地域防災組織育成事業補助の詳細について

答 本事業は、宝くじの収益金を財源とする一般財団法人自治総合センターの「コミュニティ助成事業」です。地域防災育成事業に区分される女性消防隊育成助成事業を活用し、上限額は100万円までの範囲で補助率10分の10が交付されるもので、現在、田代区婦人消防クラブに配備しているD-1級軽可搬消防ポンプ等一式の装備品を更新するものです。



更新を予定しているD-1級軽可搬消防ポンプ



慎重な審査を行いました

教育民生常任委員会

旧半原小学校「懐かしの学び舎」再現事業費

問 今後における施設の管理方法について

答 旧半原小学校木造校舎の一室を昭和期の雰囲気再現し、今後、さまざまな歴史文化の活用役立てることができるよう補修するものです。

今後の管理方法は、資料の保管スペースとしての活用のみならず、資料



旧半原小学校を調査

の展示や、「懐かしの学び舎」としての教室を再現するなど、児童生徒をはじめ、町内及び町外にお住まいの方からのニーズに対応することのできる施設の運用を考えているため、郷土資料保管施設としての機能を維持しながら、必要最小限の維持管理に努めていきたいと考えています。

この協働事業の実施団体から、新たに半原地内に2か所目となる「認知症予防カフェ」を開設したい旨の要望があったことから、立ち上げから自立するまでの一定期間、運営に係る支援負担金3万8千円の予算を計上したものです。この負担金3万8千円の詳細は、講師・謝礼代として2万8千円で、その内訳は、コグニサイズ指導、音楽家による歌唱鑑賞と斉唱及び認知症介護体験談などであり、その他、チラシなどの印刷製本費1万円の子算を計上したものです。

認知症予防カフェ支援事業費

問 認知症予防カフェ支援負担金の詳細について

答 国では、「認知症施策推進大綱」を定め、認

討

論

本会議最終日の24日に、各会派が町長提出議案に対する討論を行いました。内容の一部を紹介します。

※議会における「討論」とは提出された議案に対して「賛成・反対」の旨とその理由を述べて、他の議員を自己の意思に賛同させることを目的とする発言のことで、

条例議案

反対
日本共産党愛川町議員団
鈴木 信一 議員

議案第8号「愛川町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定」について反対です。

ごみ処理にかかる経費の負担増が町財政に大きな影響を与えていることは理解できますが、今は新型コロナウイルスの影響により、町民の暮らしは大打撃を受けています。回復の兆しが見えていない状況の中で、新たな負担を町民に求めるべきではないと考えます。

賛成
令和あいかわ
阿部 隆之 議員

議案第8号について賛成です。

手数料が改定されない場合、2つの問題が考えられます。まず、近隣市との手数料の格差によつ

予算議案

賛成
あいかわの聲
木下 眞樹子 議員

て、名義貸しなどによる本町への粗大ごみの流入が懸念されます。2つ目の問題として、手数料が改定されないまま、粗大ごみの点数が増えた場合、今後、町の財政を圧迫することは火を見るより明らかです。今後、人件費や燃料価格の高騰などにより、町民サービスに何らかの影響が出る可能性があります。粗大ごみ処理手数料の改定に賛成です。

町長は、令和3年度予算編成にあたり、「聖域なき改革」と述べられています。大部分の補助金などは1割カットされましたが、一部では、見直しが図られない事案もありました。まだまだコロナウイルスが収束しない状況が続いている影響なのかと考えます。今後、歳入では法人町民税、個人町民税の減収が続くと思いますので、1割カットの精神を忘れずに予算執行をお願いします。

一方、歳出では、高齢化が進み、年々民生費が増加し続ける状況にあります。そのような状況の中で、老人福祉、児童福祉、障害福祉等、バランスよく予算編成に取り組んでいただいたことに感謝します。

粗大ごみの処理手数料 改定表

現行(～令和3年9月)		改定後(令和3年10月～)	
区分	金額	区分	金額
粗大ごみ※1 戸別訪問収集	1個につき 500円	大型粗大ごみ※2以外 戸別訪問収集	1個につき 500円 (改定なし)
		大型粗大ごみ 戸別訪問収集	1個につき 1,000円
粗大ごみ 直接持込み (美化プラント搬入)	1個につき 100円	大型粗大ごみ以外 直接持込み	1個につき 300円
		大型粗大ごみ 直接持込み	1個につき 600円

※1 家電4品目(エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機、衣類乾燥機)を除く
※2 大型粗大ごみ(最長辺が180cmを超え、かつ幅または厚さが10cmを超えるもの)

ロボットによる新たな見守り事業を推進



見守りロボット「パペロアイ」

ひとり暮らし高齢者の孤立や心身機能の低下を解消するため、ロボットを活用した見守りを試験的に導入し、検証していきます。

特に、高齢者見守り支援事業費では、見守りロボット「パペロアイ」の実証実験を行いながら、効果や課題を把握し、次年度の本格導入を目指すとのこと。新型コロナウイルスの影響により、ひとり暮らし高齢者の社会活動の急減が見られる中、タイムリーな事業です。関東圏では初めて導入され、全国でも6番目の先進事例となることから、正確なデータの取得

に心がけ、町民の満足度の高い事業となることを期待します。いずれにしても、予算を執行する町側、予算に対するチェックをする議会側、おのおのが町民のために働くことが大事だと理解しています。互いに知恵を出し合うことが、コロナ禍では必要です。この町が安心・安全で住みやすい町として繁栄していくことを願います。

議案等の内容

会派代表質問

常任委員会

討論

会派議決一覧

一般質問

お便り紹介

クイズ・お知らせ

令和3年5月15日

賛成
日本共産党愛川町議員団
小林 敬子 議員

一般会計を中心に賛成討論を行います。

昨年からの新型コロナウイルス感染症によるパンデミックが収束せず、長い自粛生活が続く中で、私たちは、何よりも感染防止により住民の命と暮らしを守り、コロナ禍で受けたさまざまな苦難を救済することに全力を尽くさなければいけないと考えます。

その観点から見れば、本町の新年度予算における歳入は、法人町民税の大幅減少や個人町民税の減少が見込まれるため、普通交付税の交付団体として、普通交付税や臨時財政対策債を活用しました。歳出では、町内循環バスにおいて、以前から要望がありました大型商業施設への乗り入れや通院等へ配慮した運行ルートの見直しがありました。さらに、桜台小沢線を運行する海老名行きの新

町内循環バス新設停留所予定箇所



③八木クリニック前(半原)



①コピオ愛川店 屋上(角田)



循環バス



②大塚下(中津)

設路線の実証運行が開始されるなど、町民要望実現のために関係機関との協議に尽力されたことを評価します。水道事業会計予算では、大規模な災害に備えて、令和2年度の戸倉第4水源の浸水対策工事に引き続き、令和3年度は戸倉

浄水場浸水対策工事への着手、また、計画的に実施している老朽化した配水管整備工事など、水道施設の強化を図るものであり、評価します。今後も、経営の合理化、省力化を図り、健全な水道経営に努めるよう要望します。

賛成
令和あいかわ
阿部 隆之 議員

全議案に賛成です。令和3年度の予算は、

しっかりと町民生活を守り、潤いのあるものしながら、新型コロナウイルスワクチン接種事業を着実に進めつつ、経済的にも大きく飛躍のきっかけをつくる年度にしなければなりません。この予算に掲げられた一つ一つの事業は、「町民生活を守り、さらなる潤いを実感して頂くための町民目線」の内容であり、また、「町の発展を着実に進め、未来へ繋げる」内容であると考えます。

賛成
公明党
井出 一己 議員

全議案に賛成です。まず、歳入については、

新型コロナウイルス禍の経済情勢が本町の財政に及ぼす影響について、町税が、企業の業績悪化により、前年度に比べ2億5千万、

率にして33%の減と大幅な減収が見込まれ、地方譲与税も減収の見通しであり、影響は避けられない状況であると言われております。新年度では、普通交付税の交付団体となることで、発行される臨時財政対策債やその他道路事業などの適債事業の借入れも行われます。債務は、公債費の割合が高くなれば、予算配分が制限され、町民サービスへの影響が心配されます。しかし、本町の公債費負担比率は低い数値となり、住民1人当たりの地方債現在高は県内市町村の低いほうに抑えるなど、厳しい経済情勢の中で現行の取り組みを評価します。

次に、歳出については、新型コロナウイルス感染症対策事業やワクチン接種事業など、感染防止策を優先に、生活に直結した事業推進の財源確保をするため、さまざまな経常経費の削減に努められました。消耗品、備品購入費、さらに高齢者バス割引乗車券

購入費助成事業負担金の補助率の改定、バス停留所上屋設置事業補助金等、72件、2千800万円余りの各種補助事業など、さまざまな削減を行い、財政への影響を抑える努力をされました。また、町営住宅の長寿命化では、三増・諏訪住宅のアスベスト建材検査を行い、三増住宅の外壁と屋根の修繕が行われます。さらに、田代住宅では、消防防災設備点検を行ったことにより消防設備の修繕が行われます。計画的に事業展開を行い、安心と居住環境の向上が図られることを評価します。



三増住宅の現地調査

令和3年 第1回臨時会（2月） 議決一覧表

●全会一致の議案

議案番号	案 件	議決結果
町長提出 第1号	愛川町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出 第2号	令和2年度愛川町一般会計補正予算（第8号）	可 決

令和3年 第1回定例会（3月） 議決一覧表

●全会一致の議案

議案番号	案 件	議決結果
町長提出 第3号	監査委員の選任について	同 意
町長提出 第4号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意
町長提出 第5号	愛川町職員の宣誓に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出 第6号	愛川町職員の給与に関する条例及び愛川町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出 第7号	愛川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出 第9号	愛川町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町長提出 第10号	令和2年度愛川町一般会計補正予算（第9号）	可 決
町長提出 第11号	令和2年度愛川町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可 決
町長提出 第13号	令和2年度愛川町介護保険特別会計補正予算（第2号）	可 決
町長提出 第14号	令和2年度愛川町公共下水道事業会計補正予算（第2号）	可 決
町長提出 第15号	令和2年度愛川町水道事業会計補正予算（第2号）	可 決
町長提出 第16号	令和3年度愛川町一般会計予算	可 決
町長提出 第17号	令和3年度愛川町国民健康保険特別会計予算	可 決
町長提出 第19号	令和3年度愛川町介護保険特別会計予算	可 決
町長提出 第20号	令和3年度愛川町公共下水道事業会計予算	可 決
町長提出 第21号	令和3年度愛川町水道事業会計予算	可 決
町長提出 第22号	工事請負契約の変更について（令和2年度原臼橋補修工事）	可 決
町長提出 第23号	指定管理者の指定について（川北児童館）	可 決
町長提出 第24号	指定管理者の指定について（宮本児童館）	可 決
町長提出 第25号	指定管理者の指定について（原臼児童館）	可 決
町長提出 第26号	指定管理者の指定について（両向児童館）	可 決
町長提出 第27号	指定管理者の指定について（細野児童館）	可 決
町長提出 第28号	指定管理者の指定について（田代児童館）	可 決
町長提出 第29号	指定管理者の指定について（角田児童館）	可 決

議案等の内容
会派代表質問
常任委員会
討 論
会派議決一覧
一般質問
お便り紹介
クイズ・お知らせ

●全会一致の議案

議案番号	案 件	議決結果
町長提出第30号	指定管理者の指定について（三増児童館）	可 決
町長提出第31号	指定管理者の指定について（小沢児童館）	可 決
町長提出第32号	指定管理者の指定について（上熊坂児童館）	可 決
町長提出第33号	指定管理者の指定について（熊坂児童館）	可 決
町長提出第34号	指定管理者の指定について（下谷八菅山児童館）	可 決
町長提出第35号	指定管理者の指定について（二井坂児童館）	可 決
町長提出第36号	指定管理者の指定について（桜台児童館）	可 決
町長提出第37号	指定管理者の指定について（坂本児童館）	可 決
町長提出第38号	指定管理者の指定について（六倉児童館）	可 決
町長提出第39号	指定管理者の指定について（大塚児童館）	可 決
町長提出第40号	指定管理者の指定について（春日台児童館）	可 決
町長提出第41号	町道路線の廃止について	可 決
町長提出第42号	町道路線の認定について	可 決
議員提出第1号	愛川町議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	可 決

●意見が分かれた議案

○・・・賛成、●・・・反対

議案番号	議員名 議案等の件名	あいかわの聲					公明党			日本共産党 愛川町議員団			令和あいかわ		無所属	議決結果		
		渡辺基	山中正樹	木下眞樹子	熊坂崇徳	玉利優	佐藤りえ	井出一己	岸上敦子	井上博明	小林敬子	鈴木信一	阿部隆之	馬場司	茅孝之		小島総一郎	佐藤茂
町長提出第8号	愛川町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○		○	○	○	可 決
町長提出第12号	令和2年度愛川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	議長は採決に加わりません	○	○	○	可 決
町長提出第18号	令和3年度愛川町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○		○	○	○	○

一般質問

紙面の都合により、発言の一部を掲載しています。詳しくは役場等に備え付けてある「会議録」をご覧ください。インターネットでもご覧になれます。なお、3月定例会の会議録は、6月中には閲覧できる予定です。

※各議員の写真の横にあるQRコードを読み込むと、本会議での質問動画がスマートフォンやタブレット端末でご覧になれます。



茅 孝之 議員 P.11

・生産年齢人口増加のための企業誘致について ほか

岸上 敦子 議員 P.14

・職場環境対策の推進について ほか

阿部 隆之 議員 P.12

・新型コロナウイルスワクチンについて

井出 一己 議員 P.14

・行政手続きのデジタル化について ほか

鈴木 信一 議員 P.12

・新型コロナウイルス感染症対策について ほか

佐藤 りえ 議員 P.15

・SDGsを取り入れた次期総合計画について ほか

玉利 優 議員 P.13

・教育現場における囲碁・将棋の普及について ほか

熊坂 崇徳 議員 P.15

・地籍調査について

小林 敬子 議員 P.13

・学校給食について ほか



©愛川町

町長 本町では、平成18年に企業誘致を促進するための条例を定め、雇用奨励金の交付や固定資産税の軽減などを行っています。今後も、関係団体から要望等の情報収集に努め、より一層、奨励措置の利用促進を図っていきます。

雇用奨励金交付など 奨励措置利用促進へ

問 本町の人口は4万人を下回り、このまま推移すれば、町民サービスに影響が出る可能性が予想されますが、今後、生産年齢人口を増やすために、企業誘致の促進を強化する考えを伺います。

生産年齢人口創出 企業誘致の強化へ



茅 孝之 議員



地元で栽培された有機野菜(ニンジン)を試行的に提供

町長等 本町の農業を持続的に発展させていくため、農業委員会や農業関係団体と連携を図りながら、中心的担い手となる農業者の確保、育成に努

土壌の良さをPR 給食で試行的に提供

【その他の質問項目】
シテイセールスについて ほか

問 近年、有機野菜に関する意識の高い若手農家が増えていますが、今後、若手農家を誘致し、支援していくことや、その方たちが栽培した有機野菜を学校給食で使用する考えについて伺います。

若手農家の誘致と有機野菜

めるとともに、自然環境や土壌の良さをいかしたPRをしていくなど、さまざまな方策を考えながら、粘り強い取り組みを進めていきます。

また、有機野菜の学校給食への活用については、有機栽培をしている地元若手農家と学校給食での活用に向けて協議を進めており、今後は、対応可能な有機栽培野菜を活用した学校給食を試行的に提供していきたいと考えています。



阿部 隆之 議員

「新型コロナウイルス感染症」 接種に対する抵抗感 ワクチンの情報提供



問 ワクチンに対する抵抗感を持つ方が少なからずいると思いますが、本町のワクチン接種に対する考え方と、町民へのワクチンに関する情報提供について伺います。

あらゆる媒体活用 正しい情報を発信

町長 ワクチンの有効性や副反応などの安全性に関する正確な情報について、広報紙をはじめ、町のホームページやLINE公式アカウントなど、あらゆる情報媒体を活用しながら、正しい情報を丁寧に発信していきたいと考えています。

接種の体制づくりの取組

問 ワクチン接種については不確定な情報が多い中、本町のワクチン接種に向けた体制づくり等の取り組みについて伺います。

関係機関と緊密連携 安全安心に万全期す

町長 町医師会の協力をいただきながら、実際の流れを想定したシミュレーションの実施やスタッフ研修を3月中旬から行い、より安全で効率的な

運営について検証を重ねていきたいと考えています。

また、ワクチン接種については、国からの指示も変更されるケースが多々あるため、これまで検討してきた本町の計画や内容を修正せざるを得ないことも想定されますが、厚木医師会や関係機関とも緊密に連携を図りながら、安全で安心できるワクチン接種体制に万全を期していきます。



介護職員に対する 定期的PCR検査



鈴木 信一 議員

問 感染リスクの高い高齢者施設の介護職員に対する定期的なPCR検査を町独自で実施する考えについて伺います。

国の支援交付金活用 県取組みの周知を図る

町長 昨年8月から、国において介護施設の職員を対象とした新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金を助成し、PCR検査を促進しています。本町では、この国の交付金の活用や県が進めているPCR検査の周知を図り、検査の促進に努めていきたいと考えています。

防災士連絡協議会の設置へ

問 防災士の役割を十分に発揮できるようにするために、連絡協議会などの新たな組織を設置する考えについて伺います。

知識と技能の向上 スキルアップ研修会

町長 防災士の連絡協議会を設置する考えについては、防災士として同じ



志を持つ皆さんが一堂に会し、情報交換や新たな知識の習得など技能を高めていくことは、地域防災力の向上にもつながるものと考えています。令和3年度は、スキルアップ研修会を予定しておりますので、こうした研修会を通じて、今後は連絡協議会へと繋げていきたいと考えています。

効果は十分に認識 提言と受け止める

教育長 囲碁・将棋により、集中力や決断力を身につけることは、教育的効果が高いものと認識しています。しかし、現状のカリキュラム等を踏まえ、これまで以上に教育現場に組み入れることは難しいと考えますので、ご提言として受け止めます。

農業従事者の高齢化 新たな担い手の確保

町長 本町では、意欲的な担い手の経営拡大に伴う集積や新規就農者により、農地の活用が進められている一方で、基幹的な農業従事者における、年齢70歳以上の割合が、全国平均値を上回っており、今後、高齢化等を要因とした農地の遊休化が懸念されます。

こうした状況の中、人・農地プランの実効性を高めていくため、角田仙台下地区において農地中間管理事業を活用したイチゴ農家の受入れや、角田峰地区では、大規模施設栽培や観光イチゴ農園といった民間企業の参入など、新たな担い手の確保に取り組んできたものです。今後も引き続き、積極的な農地中間管理事業の活用や、民間企業の参入を促進するなど、農業委員会や農業関係団体と連携しながら、中心的担い手となる新たな農業者の確保に努めていきたいと考えています。

法定外繰入を解消 制度の創設は困難

町長 本町の国保税の決定に際しては、加入者に過度な負担とならないよう、一般会計からの繰入を行うことで保険税の上昇を抑えてきましたが、国ではこの繰入金の解消に向けた取組を推進しています。こうした状況において、今までも繰入金を増やし、子供に関する減免制度の創設は難しいと認識しています。

問 囲碁・将棋は、子どもも集中力の向上など多様な効果があると思いますが、教育現場において囲碁・将棋を普及していく考えについて伺います。

集中力などの向上 囲碁・将棋の普及




玉利 優 議員

問 現在の農業は、高齢化や後継者不足、耕作地放棄など、人・農地の問題を多く抱えています。人・農地プランの現状と課題について伺います。

人・農地プランの現状と課題



国保の均等割課税 重い負担を減免で




小林 敬子 議員



ニンニクも地元で有機栽培されています。

学校栄養士らと懇談 試行結果を基に協議

教育長 現在、学校給食に使用する食材は、お米やお肉など可能な範囲で町内産を使用しています。こうした中、新たに地元有機栽培野菜の活用を推進するため、昨年からは

【その他の質問項目】
子育で支援について
ほか

問 有機農産物を学校給食で活用する考えについて「学校栄養士と有機野菜生産者との意見交換会で検討していく」との答弁がありました。その後の進捗状況について伺います。

今後は、対応可能な有機栽培野菜を活用した学校給食を試行的に提供し、この試行結果を基に、学校給食で活用しやすい有機栽培野菜の選定や、安定的に活用するためのコスト面など、引き続き協議を進め、さらなる地元野菜の消費拡大に努めていきたいと考えています。

学校給食に有機野菜
生産者との意見交換会

※ **コンプライアンス状況と今後の取組**




岸上 敦子 議員

問 職員へのコンプライアンスに対する推進状況と今後の取組について伺います。

**機会を通じ研修実施
職場環境向上努める**

町長 本町では、従前より節目ごとに訓示を行い、通知をもって指導を促し研修などのあらゆる機会を通じてコンプライアンスの徹底を図っています。今後においても職員同士がお互いの人格を尊重し、信頼し合える良好な職場環境の向上に引き続き努めていきたいと考えていきます。

※コンプライアンス:法令を遵守する



職場環境の向上に努めていきます

夜間中学校への認識と必要性

問 夜間中学校は、県内には横浜市と川崎市に1校ずつ設置されていますが、他市町村からの生徒を受け入れる広域的な夜間学級として新たに相模原市への設置が進められています。本町における夜間中学校への認識と必要性について伺います。

ある児童・生徒など、さまざまな事情で義務教育を十分に受けられなかった方々へ学びの機会を提供する意義のある取り組みとして認識しています。しかしながら、設置については、場所や規模、費用負担のほか、本町単独で取り組むことは難しいと考えていますので、当面は、中学校夜間学級等連絡協議会の中で、広域的な夜間中学校の在り方について議論を深めていきます。

**学びの機会を提供
本町単独は難しい**

教育長 不登校やひきこもり、外国につながるの

本町のICT化進捗状況と課題




井出 一己 議員

問 コロナ禍で多くの人が行政のオンライン化の必要性を感じました。本町のICT化の進捗状況と課題について伺います。

**おおむね順調に推進
デジタル化は要検討**

町長 愛川町情報化推進計画は19の施策を掲げ、児童生徒への情報端末配備、公衆無線LANの設置など、おおむね順調に進捗していると評価しています。今後の課題である、統合GIS、証明書自動交付サービス、被災者支援システムのデジタル化は、引き続き調査検討が必要な状況です。

歩道のバリアフリー化

問 歩道を利用する歩行者、車いす等が、安心して安全な通行が出来るよう、県道65号の愛川郵便局入口交差点からコピオ交差点までの区間などフラットな歩道の整備は重要課題です。歩道のバリアフリー化の現状と今後の取り組みについて伺います。

りの多い区間を中心に交通安全対策のほか、バリアフリー化、視覚障害者誘導用ブロックの設置などの歩道整備に鋭意取り組んでおり、現在、町道にあるイチョウの伐採や伐根を行い、歩道空間を広げるとともに、平坦性の確保のために舗装打ち換えなどの再整備を順次行っています。

今後も、中長期的な見通しの中で、国の交付金などを活用し、またさまざまな場面を通じて要望を続けていきます。

**再整備を順次行う
国の交付金等活用**

町長 本町では、通学路をはじめ、交通が集中、交錯する幹線道路や人通



県道65号 歩道の様子

福祉教育で体験学習 道徳教育も充実図る

教育長 各校において、※インクルーシブ教育を推進し、車椅子の操作やアイマスク体験のほか福祉をテーマとした調べ学習や体験学習、点字体験などを行っています。また、道徳教育の充実も図られ、相互理解や寛容、公正・公平の価値を扱うなど、より一層の「心のバリアフリー教育」に取り組んでいます。

国の実施指針に沿う 鋭意策定作業を推進

町長 SDGsに掲げられているそれぞれの取り組みについては、本町の総合計画における将来都市像をはじめ、まちづく

りの目標の理念に合致しており、これらを押し進める施策展開がSDGsの理念に相通するものと認識しています。したがって、次期総合計画の立案に際しては、国のSDGs実施指針に沿った上で、町の施策展開がSDGsの目標達成につながることを意識しながら、鋭意策定作業を進めていきたいと考えています。

町長 春日台地区、約34ヘクタールを7つの計画区に分け、令和元年度に第1計画区の164筆を調査し、令和2年度は第1計画区の地籍図、地籍簿の作成のほかに、第2計画区の135筆の一筆調査が終了しました。

問 新学習指導要領に基づいた「心のバリアフリー教育」の実施状況について伺います。

新学習指導要領心のバリアフリー教育



佐藤 りえ 議員



※インクルーシブ教育:障がいのある子どもと障がいのない子どもが共に教育を受けること



総合計画にSDGs視点

問 次期総合計画を策定する際、SDGsの17の目標を組み入れた計画の立案が必要と考えますが、町の考えを伺います。

町長 春日台地区、約34ヘクタールを7つの計画区に分け、令和元年度に第1計画区の164筆を調査し、令和2年度は第1計画区

7つの計画に区分 第2まで調査終了

問 地籍調査は、1筆ごとの土地の所有者、地番等を調査し、境界の位置と面積の測量を行い、地籍図と地籍簿を作成するものです。春日台地区の地籍調査をしている進捗状況について伺います。

春日台区地籍調査 測量等の進捗状況



熊坂 崇徳 議員

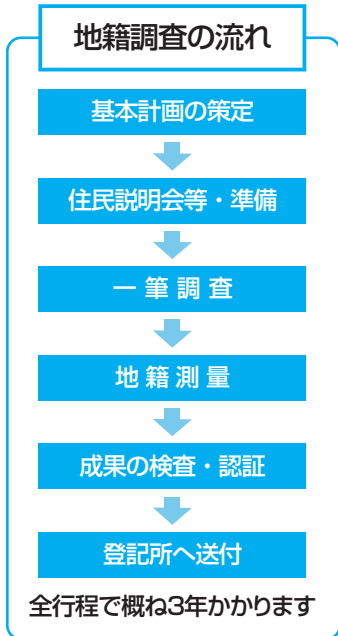


土地所有者の測量費負担

問 建築行為に係る道路後退用地整備要綱の制度を活用して、町が後退用地の買取りを行う場合、測量費は土地所有者の負担となっています。地籍調査の実施によって、土地所有者が負担する測量費の負担軽減が図られるのか、伺います。

道路課長 土地所有者の方には分筆測量に係る費用を負担していただいております。地籍調査が完了した区域においては、道路や民地の境界が確定していることから、境界確認作業が簡素化され、測量にかかる時間や費用などの負担軽減が図られるものです。

地籍調査の流れ



議会クイズにこんなご意見をいただきました

議会クイズに、毎号多くの皆様からご応募をいただいております。
第164号(14回議会クイズ)から第167号(17回議会クイズ)までに寄せられたご意見、ご感想を一部紹介します。



第164号



第165号



第166号



第167号

更なるコロナ対策、高校生や大学生にも支援をお願いします。
(10代 男性)

総務建設・教育民生常任委員会の記事で愛川町の取り組みがよくわかりました。コロナ対策で大変ですが災害時の備え嬉しく思いました。これからも安心して暮らせる町づくりをお願いします。(70代 女性)

暗いコロナの中で、議会だよりの表紙がとても良いと思います。子供達の笑顔がホッとします。議員さんお一人お一人の活躍が手にとる様になります。(80代 女性)

ようやく実現した中学校の温かい給食実施。小学校6年間での食育からの続きで、偏食が無くなり、嬉しいと思います。(孫のためにも)
(60代 女性)

2人の子どもがいるので、特に子育ての事に関心をもっています。これからも、愛川町(地域)の人だけでなく、自然のためによろしくをお願いします。(30代 女性)

一般質問を後半に配置されたことにより、じっくりと読むことができましたので、記事の入れ替えは、とてもいいと思いました。(80代 男性)



議会クイズの抽選をする様子

(左から鈴木委員、阿部委員長、小林副委員長)

このほかにもたくさんのご意見、ご感想をいただいております。より良い紙面づくりに活かしてまいりますので、今後ともご応募お待ちしております。

第19回 議会クイズ

問1 各会計予算額の総額はいくらでしょうか？

- ①38億2,887万円
- ②247億2,938万8千円
- ③1,522億3,008万1千円

問2 ひとり暮らし高齢者の見守りロボットの名前は何でしょうか？

- ①あいちゃん
- ②パペロアイ
- ③ロボットアイ

問3 表紙を飾る作品を制作してくれた中学校はどこでしょうか？

- ①愛川中学校
- ②愛川東中学校
- ③愛川中原中学校



感染予防のため
マスクの着用を
徹底しましょう。

©愛川町

《応募方法》 町内在住の方で、1人1通に限ります。答え・住所・氏名・年齢・電話番号、また、必ず議会だよりの感想等（紙面の見やすさなど）をご記入のうえ、下記あて先のいずれかの方法で応募してください。
☆正解と当選者は次号で発表します。

《しめきり》 5月31日（月）（郵送の場合は当日消印有効）

《あて先》 ●はがきの場合

〒243-0392
角田251-1 議会事務局

●ファクスの場合

046-286-5021

●電子メールの場合

gikai@town.aikawa.kanagawa.jp

●オンラインでの場合

右記のQRコードを活用して、応募ができます。

この議会だよりの中に答えがありますので、最初から最後までよく読んでみてください。正解者の中から抽選で3名の方に、商品券をお贈りします。



議会基本条例
調査検討会

町議会の最高規範である「愛川町議会基本条例」が公布されてから、今年度で10年が経過します。時代とともに状況が変化する中、議会では条例の目的が達成され、正しく運用されているかどうか、議会基本条例調査検討会を立ち上げ、検証及び見直しを行っています。



第18回議会クイズの
答えと当選者

前号の議会クイズの正解と当選者は次のとおりです。

《正解》

- 問1・②5件
- 問2・①アクリル板
- 問3・③美術部

《当選者》

- 青木 秀 夫 様
- 山口 史 江 様
- 田代 清 様
- 以上3名

次回定例会の
お知らせ

次回、6月定例会の日程は左表のとおりです。会議はいずれも午前9時から開会します。また、本定例会の運営を協議する議会運営委員会は5月21日に開催する予定です。日程が変更になる場合もありますので、詳細は議会事務局にお問い合わせください。



©愛川町

令和3年 第2回6月定例会日程（予定）

月	日	曜	会議名
6	1	火	本会議（提出議案の説明）
	3	木	本会議（一般質問）
	4	金	本会議（一般質問）
	8	火	総務建設常任委員会
	9	水	教育民生常任委員会
	15	火	本会議（総括質疑、討論、採決）

今号の表紙を飾る作品を制作してくれた

愛川中原中学校美術部の生徒たちのアンケート結果を紹介します



作品への思い



たごさんウインナー
ウインナーの足をクルクルと曲がるようにしたところに注目してほしいです。

プロッコリー
より本物のように見えるように、何度も色の調整をしました。

レモン

へタのところが本物っぽく立体的に見えるようにしました。
白い皮の部分をつけるのが大変でした。くし型に切れている断面に注目してもいいと思います。



いちい

断面を本物のように見えるように絵具で色を付け、表面に光沢が出るようにのりを使って本物に近づけるように工夫しました。

なぐりん

本物に近い色を出したかったので、まず、最初に色をつくりました。



入部した動機

- もともと絵を描くことが好きで、もともと美術部で自分の好きなことをいかにしたいと思ったから。
- 粘土などを使って作品を作りたいと思ったから。

将来の夢

- 美術の教師
- スタ일리スト
- イラストレーター
- デイズニーキャスト
- ファッションデザイナー
- 考古学者
- 納棺師 など



親子給食について

- 温かくて美味しい給食(揚げパンやカレー)で嬉しいです。
- 親子給食がはじまって、お昼の時間が楽しみになりました。
- お弁当の方が美味しいものがたくさん入っているのでも、お弁当の方が好きです。



©愛川町



先輩と3年生が制作した壁画の前で

議会ってどんなところ？

- 何かの問題について、多くの人が集まって話合つところ。
- 議題を出し、それについて意見を出し合い、みんなで話し合いを行っているところ。など

編集後記

まだまだ予断を許さないコロナ禍の状況ではありますが、今年には桜の開花が早く、春の訪れは心和むものがあります。今号は愛川中原中学校美術部の作品が表紙です。全て紙粘土で作られていますがお弁当を見ると、満開の桜が思い出されます。

さて、3月定例会では、令和3年度当初予算をはじめ、監査委員等の人事関係及び条例関係議案等において審議を行い、すべての議案を可決致しました。今後も議会だよりを通じて、町民参加の議会を実現するため、情報発信に努めていきます。

広報広聴常任委員会

- 委員長 阿部 隆之
- 副委員長 小林 敬子
- 委員 岸上 敦子
- 委員 茅 孝之
- 委員 鈴木 信一
- 委員 佐藤 りえ
- 委員 玉利 優
- 委員 熊坂 崇徳
- 委員 木下真樹子
- 委員 山中 正樹

※議会クイズはP17に掲載しています